

事務事業名	簡易水道 送・配水施設更新事業	所属部	水道局	所属課	工務課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G	工務G/施設G	課長名	飯島 昭
	施策名	(15)上水道の整備	担当者名	小田川謙一 安部和吉	電話番号	0854-40-0163 (内線) 4630
	目的:対象	市民	意図	安全・安心で安定した水道の供給を受ける。	予算科目	会計 款:大事業 大事業名 2 0 0 5 0 2 項 目:中事業 中事業名 0 5 0 5 - - 一般管理事業
	目的:対象	給水区域外の市民	意図	水道が供給できるように整備する。	各町一般管理事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
既存簡易水道施設について、老朽管改良、他事業に伴う支障移転及び、送配水管理機器の更新を行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動) 老朽管の改良(布設替え)工事、道路改良に伴う支障移転工事及び管理機器の更新。	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 老朽管の改良(布設替え)工事、道路改良に伴う支障移転工事及び管理機器の更新。なお、経営統合により、雲南市水道事業となるため、事務事業名を変更する。			
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 布設替延長	m	131	0	438	422
	イ 箇所	箇所	7	5	11	8
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	給水区域住民、簡易水道施設	ア 簡易水道給水人口	人	8,048	7,815	6,535	6,444
		イ 簡易水道管路延長	km	325	325	325	325
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
支障となる水道管の移設による他事業の良好な進捗と、改良・更新による水道施設の耐用年数の延伸により水道水の安定供給を図る。	ア 布設替延長	m	131.0	0.0	438.0	421.8	
	イ 箇所	箇所	7	5	11	8	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)	
工事請負費 25,209千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
掛合大東線配水管移設工事(中之瀬工区)		県支出金	千円				
掛合大東線配水管移設工事(R54工区)		地方債	千円				
掛合大東線減圧弁改良工事		その他	千円	5,157	5,465	25,209	13,720
梅の木線給水管改良工事		一般財源	千円				
栗谷ポンプ所ポンプユニット更新工事	事業費計(A)	千円	5,157	5,465	25,209	13,720	
新地下線配水管改良工事	人件費	正規職員従事人数	人	6	5	6	
大吉田線配水管移設工事		延べ業務時間	時間	1,744	2,732	2,334	
宮内掛合線配水管移設工事(入間工区)		人件費計(B)	千円	6,781	10,693	9,259	
大谷浄水場送水流量計更新工事	トータルコスト(A)+(B)	千円	11,938	16,158	34,468		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
国の方針により、平成28年度末に上水道に統合されることになる。	経済比較をし、経済的な材料・手法で設計・施工するよう努めている。	効率的事業運営が求められている。

事務事業名	簡易水道 送・配水施設更新事業	所属部	水道局	所属課	工務課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	今現在、更新等の実施方法はこの手段以外にない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	老朽管による漏水事故、機器等の故障による事故などの危険性が増大し、安心・安全で安定した供給に影響が出る。また、他事業関連による移転を行わないと、その事業自体に影響が出る。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		連携できる類似事業がない。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		新技術の導入、建設コストの削減など設計内容の精査を実施しており、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	最小限の人数で対応しているため、削減の余地はない。		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		水道使用料で負担しているため、公平である。他事業関連の事業はすべて実施している。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	配水管等の更新により漏水事故発生及び機器等の故障による事故などの危険度が低減し、水道水の安定供給を図った。他事業関連の移設も滞りなく進捗した。	
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
第2次雲南市水道事業総合整備計画と連携し、今後も引き続き、計画的に老朽した施設及び老朽管の更新に努める。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		